

連載
第29回
福聚山史

池浦 泰憲 文
及川 一晋 編

大正から昭和にかけて

11、及川真学上人の法灯継承

常円寺に「御本尊 及川真学蔵」と箱書された、一幅の曼荼羅御本尊が蔵されている。常円寺第三十七世及川真学上人（本妙院日修上人）が格護してきた御本尊である。

この御本尊には、

維時 昭和八稔春王正月元旦 於東京都淀橋区常圓精舎書之

授与之弟子真学学業増進智慧明了多聞強識化導成辯

との脇書があり、中央下には「日龍（花押）」の署判がある。「日龍」上人とは第三十五世子院日龍上人¹及川真能上人であり、昭和八年（一九三三）正月に、真能上人が弟子真学上人に授与した御本尊であることがわかる。

及川真学上人は、明治四十年（一九〇七）七月一日、京都市上京区紫野に後藤竹次郎・サト夫妻の次男として生れ、幼名を真吾といつた。翌明治四十一年（一九〇八）、島根県迦摩郡温泉津町恵光寺住職であった藤原周学・シナ夫妻の養子となる。そして、大正九年（一九二〇）藤原周学上人について得度、名を真学と改名し、この年、東京大崎の日蓮宗大学（後の立正大学）中等部に入学する。この時の保証人が及川真能上人であった。その後、大正十三年（一九二四）立正大学

予科に入学する。中等部在学中は学校の寄宿舎より通学したが、関東大震災で寄宿舎が倒壊したためこの時から常円寺で隨身生活を始めることとなる。大正十五年（一九二六）に立正大学社会学科に入学し、心理学を専攻する。

そして、昭和六年（一九三一）、真学上人は真能上人の養子となる。後年、このことについて真学上人は次のように語っている。

…その寺（恵光寺）の跡取りにしようと思つて、私を親父（周学上人）は育てた。ところが、私は東京の学校で勉強するうちに、東京の学校を卒業しましたり、いろいろ奉公をしているうちに東京の方が良くなってきまして、田舎に帰る気がしなくなってきた。

とつとつ東京の後からの親父（真能師）が、「真学を自分のところの跡取りにしたいからくれんか」と、島根県までもらいにいってくれました。親父（周学上人）は手離したくない、けれども考えてみれば、この子が一生この田舎寺にいるよりも、東京の寺に行った方がこの子のために良からうということだ、檀家総代の方々と相談いたしました、東京の方へ弟子入りをし、養子になるという形をとってくれた訳です。

『本妙院日修上人遺香』（内は筆

者補足）

こうして、東京に残ることとなった真学上人は、自身の研究を進めていく。昭和七年（一九三二）四月から昭和八年三月にかけては、台湾の台北帝国大学の研修員として、同地の台湾高砂族調査に従事する。先の真能上人から授与された曼荼羅御本尊は、この台湾での調査の時期に授与されたものである。

曼荼羅御本尊は、その揮毫の目的などによって様々な種類があるが、そのなかには、御本尊に勧請される諸仏・諸尊に対して、その人の願望するところを祈り、それを成就の祈念の意味をこめて授けられるものがある。師匠より授与された御本尊には、そうした真学上人の研究の発展への祈念が含まれていたであろう。

また、この年には、立正大学文学部講師と



昭和7年、台湾高砂族調査での真学上人（『本妙院日修上人遺香』）

して教壇に立ち、心理学を教えた。昭和十五年（一九四〇）に南洋群島原住民宗教調査、昭和十六年（一九四一）には、ベトナム・タイ原住民宗教調査に派遣される。このように仏教という枠にとどまらない分野での研究や活動は、先に触れてきた柴田一能上人もそうであったように、及川真能上人の弟子の一つの系譜といつていいのではないだろうか。

昭和十二年（一九三七）師父である及川真能上人が遷化する。これにより柴田一能上人が常円寺住職に就任するのに伴い、真学上人は八王子本立寺住職となる。一方で、昭和十六年、太平洋戦争が開始されると、日本軍のインドシナ半島のマレー語通訳など、否応なしに戦争へと関わっていくこととなる。さらに、昭和十九年（一九四四）には、応召により甲府連隊に入営し、昭和二十年（一九四五）八月、終戦を千葉県館山で迎える。同月復員帰還するが、新宿の常円寺も八王子の本立寺も空襲により灰燼に帰っていた。

昭和二十三年（一九四八）に入ると、常円寺住職柴田一能上人が病に臥せ、そのため常円寺運営を後見することとなり、多忙のため、昭和八年から教壇に立っていた立正大学を辞し、専ら本立寺・常円寺復興事業にあたることとなる。一能上人が昭和二十六年（一九五二）に遷化した後は、常円寺代務住職に就任し、昭和二十八年（一九五三）四月、常円寺客殿の移転工事などをはじめとして、その復興に邁進することとなる。

師匠から弟子への曼荼羅御本尊授与には、自らの後継の意が込められることもある。師匠真能上人より授与された曼荼羅御本尊とともに、真学上人はその法灯を受け継いだのである。

（つづく）